

社会言語科学会では以下の要領にて 2007 年夏の合宿参加者を募集いたします。

企画題目・趣旨：

「インタラク션을科学する」

言語研究、特に談話分析の中で近年ますます注目を集めているのが、「インタラク션」の研究です。この「インタラク션」（または相互行為）ということばが示すように、人と人（あるいは人と事物）とのやり取りを可能にする働きには、単なる情報の受け渡しだけでは捉えきれない側面が多く存在します。しかしながら、いざインタラク션을「分析」しようとしても、現象の記述に終わってしまったという経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

今回の合宿では、一見曖昧模糊としたインタラク션の諸側面から進展著しいテーマを 4 つ選び（以下参照）、インタラク션을考察する意義とその際の留意点・問題点に光を当て、さまざまなアプローチやデータ分析の手法を用いてインタラク션을読み解くための講座を企画しました。講師の方々には、講義のほかにワークショップや実習を交えながら、各テーマの基本的な概念から最新の知見までを概観していただきます。日頃からインタラク션の分析にもどかしさをお感じの皆さんに、ぜひ参加していただきたい企画です。また参加者間での親睦を深めることで、今後ますますネットワークが広がることを期待しています。どうぞ奮ってご参加下さい。

<日程>

2007 年 8 月 28 日(火)～30 日(木)

<場所>

裾野研修センター（社団法人日本電気協会）

〒410-1115 静岡県裾野市千福が丘 4-1 7-1

Tel:055-993-6530

URL: <http://www.denki.or.jp/institution/about.html>

<開講講座および講師(敬称略)>

1. ジェスチャー：古山宣洋（国立情報学研究所）
2. ポライトネス：田中典子（明海大学）
3. 会話の分析／会話の文法：
森本郁代（関西学院大学）・鈴木佳奈（情報通信研究機構）
4. コンピューターを介したコミュニケーション（CMC）：
岡本能里子（東京国際大学）・佐藤彰（大阪大学）

<各講座概要>

1. ジェスチャー：発話-身振り研究への招待
国立情報学研究所 古山宣洋

発話-身振り研究は、発話と身振りを、相互に協調して成立するコミュニケーション・システムと捉えるマクニールの研究に端を発する研究分野である。本講座では、この発話-身振り研究について紹介する。初日は、この分野の概説として、身振りが言語コミュニケーションに

において果たす役割や、発話-身振りから成立するシステムが、談話で触れる情報を制約するという興味深い事実など、比較的最近の研究事例に触れながら解説する。2日目午前は、身振りの種類やフェーズなど、身振り研究をするうえで必要となる分類法や、その背景としての記号論について概説する。午後には、受講生が実際に身振りのコーディングを体験できる課題を設定して、研究の醍醐味を味わえるようにしたい。3日目は、課題の成果を発表する。なお、社会言語科学では比較的新しいテーマであることを鑑み、レベルは初学者を想定、特別な背景知識は求めないこととした。

2. ポライトネス：理論と研究への応用

明海大学 田中典子

「ポライトネス」は、現在では語用論研究の中でも最も人気のあるテーマのひとつになっている。それはこの現象が私たちの日常のコミュニケーションと深く関わっているからであろう。本講座では、先ず、一般に考えられている「ポライトネス（丁寧さ）」と言語学で言われる「ポライトネス」という概念の違いを指摘したい。そして、「ポライトネス理論」としてよく言及されるいくつかの理論を概観し、それらに対する批判も交えて、ポイントを理解したい。

さらに、ポライトネスに関連した研究にはどんなものがあるか、一例として田中の研究を紹介したい。参加者の皆さんにも身のまわりの言葉を「ポライトネス」の観点から観察し、分析的に検討する視点を養って頂けたらと思っている。参加される方には、特に専門的な知識を前提としない。どこにでも見られる「ポライトネス現象」に興味を持って参加していただければ幸いである。

3. 会話の分析／会話の文法

関西学院大学 森本郁代・情報通信研究機構 鈴木佳奈

本講座では、会話分析（Conversation Analysis）を取り上げ、自然な会話の詳細な分析を通して、会話参加者が会話における「今、ここ」をどのように理解し、その理解をどのように呈示していくのかを探るための方法論について学びます。本講座は、主に以下の2つの活動を中心に行います。(1) 会話の順番取りシステム（turn-taking system）や、隣接対（adjacency pairs）を含む発話の連鎖構造（sequence organization）、修復（repair）など、会話分析のこれまでの知見について、実例の観察を通して理解できるようになる。(2) 実際に会話データの分析を経験し、データの中に秩序やパターンを発見するための手続きを知る。受講者には会話分析についてある程度知っている方だけでなく、特に知識がなくても関心がある方なら誰でも歓迎します。

4. コンピューターを介したコミュニケーション：CMC

東京国際大学 岡本能里子・大阪大学 佐藤彰

近年のインターネットの急速な普及により、メディアを介したコミュニケーション（CMC）は、インターアクション研究に欠かせない領域となっており多様な研究が行われつつある。そこで、最近のCMCの研究動向を概観し、今回はCMCで日常的なコミュニケーション場面となっているブログや電子メールなど具体的なデータをもとにその分析手法を紹介する。CMCは顔も見えず声も聞こえないコミュニケーション空間であり、基本的には書きことばでありながら、引用、表記、記号、絵文字など独自のビジュアルな表現素や表現形態を駆使し、多層的な意味

創出を通して対人関係調整を行っている。このようなCMC独自のテキスト分析の手法を実際のデータ分析を通して体験し、新たな研究領域の広がりを知ると共にその研究の楽しさを共有したい。当日は参加者それぞれに分析したいデータを用意していただく予定。

<合宿計画（現地集合・現地解散）>

1日目午後

【受付】午後0:00-1:30 研修センター入り口付近

【開会～注意事項伝達】午後1:30-2:00

【全体講義】午後2:00-6:30（参加者全員が聴講；各講座60分）

- ・「ジェスチャー」講義
- ・「ポライトネス」講義
- ・「会話の分析／会話の文法」講義
- ・「CMC」講義

【参加者対面式】午後9:00～（入室・夕食・入浴後）

2日目午前

【講義・実習】午前9:00-12:00

参加者は各講座に分かれて受講（時間配分は各講座ごとに設定）

2日目午後

【講義・ワークショップ・実習】午後2:00-5:00

参加者は各講座に分かれて受講（時間配分は各講座ごとに設定）

【懇親会】午後8:00～（夕食・入浴後）

3日目午前～

【グループ発表】午前9:00-午後0:30

上記4講座のグループ発表（各講座持ち時間50分）

【閉会】午後0:30～

食堂にて昼食後、流れ解散

<募集人員>

60名（先着順受付）

※定員になり次第締め切りますので、お早目のお申し込みをお願いします。参加の可否と参加費の振込み方法については、お申し込みをいただいた後に、メールにてご連絡させていただきます。

※また、各講座の定員の上限は20名とさせていただきます。この定員を超過し、かつ全体の募集人員に達していない場合は、その講座のキャンセル待ちをするか、他の講座に移動するかをご判断いただきます。講座定員、募集人員どちらも超過の際は、参加辞退のお申し出が

ない限りキャンセル待ちとさせていただきます。

<参加費（2泊3日・6食・実習費・懇親会費込み）>

- 33,000円 学生会員
- 38,000円 一般会員または非会員の学生
- 40,000円 非会員の一般参加者

※参加費の振込みについて

参加が可能であるとのメールをお受け取りになってから、「1週間以内」に指定の口座に参加費をお振込みいただきます（振込先はその際にご連絡いたします）。また、お振込みの際の手数料はご本人様負担とさせていただきます。

※キャンセルについて

8月7日までの参加取り消しにはキャンセル料はかかりませんが、それ以降のキャンセル料は以下のようにさせていただきます。

- 8月8日～8月21日 費用の50%+返金のための振込手数料
- 8月22日以降 全額

<メールによるお問い合わせ・申し込み先>

jassjig2@gmail.com

<申し込み方法>

上記のアドレスに、(1)～(9)の内容を記載したE-mailをお送りください。

- (1) メールの Subject を、「JASS 2007 夏合宿参加希望」とご記入ください
- (2) 氏名（ふりがな）
- (3) 性別(*1)
- (4) 郵便番号・住所
- (5) 連絡先電話/Fax番号
- (6) E-mailアドレス
- (7) 所属/職名（学生の方は学年）
- (8) ステータスの別（以下からいずれか一つお選び下さい）
 - ・学生会員
 - ・一般会員
 - ・非会員で学生
 - ・非会員で一般
- (9) 参加希望講座（「ジェスチャー」、「ポライトネス」、「会話」、「CMC」から、いずれか一つお選び下さい）(*2)
 - ・ジェスチャー
 - ・ポライトネス
 - ・会話
 - ・CMC

(*1) 部屋割りの関係がございますので、お教えいただければと存じます。（2～3人の相部屋

となります。) なお、研修センター内は全室禁煙となっております。ご理解のほどお願い申し上げます。

(*2) 各講座の定員の上限は 20 名です。定員超過の際の取り扱いについては、上記「募集人員」をご覧ください。

<合宿に持参して頂くもの>

・宿泊用品以外、特別に用意していただくものはありません。ただし講義によってはある種の物品の持参が望ましい場合があります。各講座の説明をご覧ください、適宜ご判断下さい。

・研修センター内ではLANアクセスによりインターネットもご利用いただけますが、ケーブルの数が限られておりますので、ご利用を希望される際はご持参いただいたほうが便利かと思えます。

<重要な留意点>

・申し込みの際には、遅くとも3日以内に参加の可否（または「キャンセル待ち」）をお知らせいたします。もしも3日以内にこちらからの確認メールが届いていないようでしたら、お手数ですがご一報いただければ幸いです。また近年は、迷惑メール対策としてサーバーが勝手にメールを誤分類することがございます。ご一報の前にそちらもご確認いただくようお願いいたします。

以上